

日々の生活に明るい 光が降り注ぐ1年に

農と輝の大地実現へ 住民主体の地方自治

迎春

市議会を代表し、謹んで初春のお喜びを申し上げます。
市民の皆さんには、夢と希望に満ちた新年をお迎えになられたことと、心からお祝い申し上げます。また、日ごろ、市議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
早いもので、八幡平市が誕生して5年余りが経過しました。昨年は、市議会議員定数が2人減った中、4月25日に合併後2回目の任期満了による議員選挙が行われ、新たに選ばれた24人の議員が、決意も新たに、農・商工業、観光、福祉、保健、医療、教育など皆さんの暮らしに関わる身近な問題をはじめとするさまざまな分野で政策提言を行い、活発な論議を交わしてきました。

今日の自治体を取り巻く環境は、長引く景気低迷による雇用状況の悪化や少子高齢時代の到来などにより大変厳しい状況にあります。私たち地方議会に所属する者にとつて、これまで以上に重大な役割を担い、多様な課題の解決に向け、積極果敢に取り組むことが使命となっています。本市議会としても、議決機関としての役割を踏まえ、皆さまが「合併してよかった」「八幡平市に住んでよかった」と実感できるよう、議員全員が一丸となって、最大限の力を尽くしていきます。本年も市議会に対し、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆さまの日々の生活に明るい光が降り注ぐ1年になりますようお願いし、新年のごあいさつとします。

八幡平市議会議長
瀬川健則

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成23年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。
今年は、「八幡平市総合計画」の前期5カ年が3月で終了となります。これまでの取り組みを踏まえて、23年度からの後期5カ年計画では、人口減少に対応するための「定住化の促進」、小規模農家を中心とした「第一次産業の生産力向上」、市の玄関口である「大更駅周辺の賑わいの創出」、通商型から「滞在型の観光の推進」、これまでのスポーツだけでなく芸術・文化活動にも対応した総合的な「合宿の里づくり」の5つのテーマのもと、市民のニーズに応えるため施策の展開を図ってきたいと思っています。

また、2月6日から10日まで第60回全国高等学校スキー大会が八幡平市を舞台に開催されます。これからもスキーに限らず、全国規模のイベントに積極的に取り組んでいきたいと考えています。
八幡平市は合併6年目を迎えました。私たちが住み、暮らす「地方」を取り巻く環境は厳しくなる中ですが、市の将来像である「農と輝の大地」の創造に向け、地方自治・地方分権をより強固にし、市民の皆さんや行政、議会など一体となり、市政の発展のため頑張っていくますので、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

八幡平市長
田村正彦